

お箸の練習

2歳児クラスでは1月から給食の時間にお箸を使い始めました。

お家の人に用意してもらったお箸を使うのが嬉しくて、お友達と見せ合ったり、意欲的に食べる様子が見られます。

園では遊びの中でお箸の練習を取り入れたり、ご家庭で少しずつ練習を始めていただいた成果もあり、ほとんどの子がお箸を使って食べることができています。今はスプーンとフォークを併用しながら無理せず頑張っているところです。

「できた！」という達成感を大切にしながら、お箸の練習を進めています。

お箸を使って食べられるかな？

<やまきたこども園のお友達>



「見て～、お魚つかめたよ」



ごはんも上手に食べられるね。



お野菜を挟むのは難しいね。



正しい持ち方ができていますよ！

<向原保育園のお友達>



お皿もしっかり持って、パクッ！！



集中、集中、みんな真剣です。



お箸の持ち方も上手です。



「お箸で食べるから見ていてね♡」

お箸を上手に使うコツはスプーンの「鉛筆持ち」ができること

スプーンから箸へスムーズに移行するには、「鉛筆持ち」を身に付けることが大切です。

お箸を上手に使えない場合は、スプーンの鉛筆持ちができていないことが原因かもしれません。

まずは、スプーンやフォークを正しく持つ練習をさせてあげましょう。

スプーンの正しい持ち方（鉛筆持ち）



①てっぼう（バキューン）の形



②スプーンをのせる



③親指と人さし指で挟む